

2026年7月

青空機械新聞

業界ニュースとトレンド紹介

発行
第40号工作機械受注は「2兆円」へ
爆発的上方修正

日本工作機械工業会(日工会)は、2026年の工作機械の年間受注総額見通しを、期初の1兆7,000億円から「2兆円」へと3,000億円も大幅に上方修正しました。直近の受注確報でも高水準をマークしており、国内外を問わず凄まじい勢いで設備投資の波が押し寄せています。

この活況を強烈に牽引しているのが、世界的な人工知能(AI)の急速な普及に伴うデータセンター向け投資や、半導体製造装置関連の需要です。これらに付随する電子部品や超精密金型の加工案件が爆発的に増加しており、主要な工作機械メーカーへの注文が殺到しています。さらに、これまでやや停滞感のあった自動車産業向けの受注も大台を突破するなど、内需全体に回復の兆しがはっきりと現れてきました。海外市場でも航空宇宙関連やエネルギー分野などの大型中長期プロジェクトが下支えとなっており、工作機械業界はまさに数年に一度の繁忙期を迎えています。

企業の投資意欲は非常に根強く、活況な業種からの引き合いが市場を強力に下支えています。国内外からの大口受注による納期長期化が強く懸念される今、この旺盛な市場の波を的確に捉え、タイムリーな生産基盤強化へと踏み切ることが、今後の町工場の明暗を分ける決定的な鍵となりそうです。

発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)
代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)
主な事業内容：工作機械販売
住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3
TEL：070-8303-6632
FAX：050-3588-8241
Email：aoki@bsmt.co.jp

今、どんな加工現場が忙しいのか？

現在、日本の加工現場で特に仕事が溢れているのは、大きく分けて以下の3つの分野です。

半導体・データセンター関連加工：半導体製造装置の内部に使われる高精度なステンレス（SUS304等）やアルミの各種ブロック、真空チャンバー用構成部品などの削り出し。精密な幾何公差と、油分やチリを嫌うクリーンな表面粗さが強く要求されます。

航空宇宙・エネルギー関連加工：難削材として知られるチタン合金やインコネル、熱に強い特殊鋼を用いた大型のエンジン部品や、タービン・バルブ類の切削加工。強烈な切削抵抗に負けない高剛性な重切削環境が必要となります。

新世代自動車(HV・EV)部品加工：軽量化を狙ったアルミダイカスト部品的高速穴あけ・タップ加工や、モーター周辺のケース・ハウジング類、インバータ用冷却プレートの多面加工。段取り替えの回数を減らし、いかにワンチャックで多くの面を削れるかが勝負となります。

これら好調な業種からの注文は非常に旺盛ですが、一方で国内のサプライチェーン全体では、塗料や各種油脂類(潤滑油など)の入荷に目詰まりが生じるなど、局所的な需給逼迫による部品調達・納期への影響が懸念され始めています。

設備投資を阻む「床面積」と「価格」の壁

これだけ市場が活況で「仕事の図面」が地域に流れてきているチャンス時期ですが、新潟県内の中小鉄工所が最新のマシニングセンタを入れて生産力を強化しようと考えた際、目の前に必ず立ちはだかるのが「床面積」と「設備価格」という二つの大きな壁です。

今の工場の狭さではこれ以上機械を置く床面積がないため、大型機を置くには大がかりなレイアウト変更が必要になります。さらに大手メーカーの高性能なマシニングは本体価格が高すぎて回収の目処が立たないという予算

の悩みも深刻です。周囲のライバル他社がこのスペースと価格の壁に直面し、設備投資を躊躇している今だからこそ、ここをクリアできれば地域に溢れる高単価な図面を総取りするポジションを確立できます。

では、限られたスペースと予算の中で、現在の需要を確実に取り込むための設備投資は本当に不可能なのでしょうか。その常識をすべて覆す、床面積を増やさず、コストを抑えて導入できる現実的な解決策を裏面にて詳しくご紹介いたします。

現場が絶対に手放さない名機。メクトロン『MTV-SX460』× リースで勝つ！

機械を知名度だけで選ぶ時代は終わりました。今回ご紹介する株式会社メクトロンは、大手の派手なネームバリューこそありませんが、工作機械のプロの間で「一度メクトロンを入れた顧客は、次も必ず指名する」と言われるほど、導入企業の満足度が異常に高いメーカーです。それは、長野県にあるメクトロン社自身が精密部品加工の現場を持ち、「削り手のリアルな使いやすさと苦悩」を熟知して設計しているからです。

① 巾1,900mm×奥行2,345mm！床面積を26%も削減する革新構造

X軸を2軸に分割して対向配置する独自の革新構造を採用。本来これだけ広いストロークを確保するのに必要とされる機械寸法から「26%ものコンパクト化」に成功しました。今ある古い機械を入れ替えるだけで、工場のレイアウトを1ミリも広げることなく、最新鋭の加工環境が手に入ります。

② 1,100×520の広々テーブルと、強靱な主軸BT40【1,100mm×520mmの大型テーブル】と【40番主軸】をこのサイズ感でしっかりと確保。それでいて無駄な付加機能を徹底的に削ぎ落としたシンプルなお設計により、中小鉄工所でも無理なく手の届く圧倒的な「導入しやすい設備価格」を実現しました。

③ 自社で精密加工を行うメーカーだからできた「軸剛性と熱変位の安定化」

加工精度の天敵である「熱変位」の影響を平均化して安定させています。朝一番の冷え切った状態から夕方熱を持った状態まで寸法のバラつきがありません。職人が寸法補正で付きっきりになる手間がなくなります。限られたスペースと予算で確実な利益を生み出す、まさに今の現場の正解です。



黒字なら「税額控除10%」の一択！

今期、少しでも黒字や利益が出そうな見込みであれば、国に税金をそのまま納めてしまう前に「中小企業経営強化税制」を活用するのが最も賢明な経営判断です。

この税制で特にメリットが大きいのが、「税額控除10%（※資本金3,000万円以下の法人、個人事業主が対象）」の選択です。これは税金を先送りするだけの即時償却とは違い、通常の減価償却を每期行いつつ、さらに機械代金の10%分の法人税をその期の税金から直接免除（チャラ）にしてくれる極めて実利の高い制度です。要件さえ満たせば、100%確実な直接減税としてメリットを享受できます。

手続きを大幅に簡素化した「三菱H Cキャピタルのスピードリース」を活用すれば、手元の貴重なキャッシュを崩すことなく、この10%直接減税の恩恵を即座に自社の財務へ反映させることが可能です。国にそのまま納めて消えるはずだった税金を、そっくりそのまま最新マシンの元手に変えてみませんか。

決算月に合わせた最適な導入スケジュールや、具体的な税額シミュレーションについてのご相談は、お気軽に株式会社青空機械（TEL：070-8303-6632）までお問合せください。

機械、工場内設備に関してご質問等がございましたら、お気軽に当社までお問合せください。

株式会社青空機械

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

E-mail：aoki@bsmt.co.jp

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

青空機械

検索

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満40歳)
2009年 (株)兼松KGK 入社
2010年
↓ 同社新潟営業所勤務
2016年
2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社
2017年
↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向
2020年
2021年 ユアサ商事(株) 入社
↓ 同社新潟支店勤務
2024年
2024年 (株)青空機械 設立